

令和7年度 自立活動とキャリア教育の取組み

研修支援部

1 はじめに

今年度、全校研究および研修テーマとして、病弱教育における自立活動とキャリア教育のつながりを意識した授業の実践について取り組んだ。研修支援部の教員が中心となり、各部署・分教室の児童生徒の個々の実態をふまえて、自立活動の6区分とキャリア教育の4観点（大阪府立刀根山支援学校「キャリアプランニング・マトリックス」）を関係づけた支援の実践の在り方を検討し、研修をおこなった。

2 実施の計画

年度初めに研修支援部の定例部会で自立活動とキャリア教育の観点、それぞれの関連について話し合う研修をおこなった。その後、各部署・分教室で研修支援部により児童生徒の実態を踏まえた自立活動とキャリア教育の観点を取り入れた研修を実施した。2学期に中間報告をおこない、年度末には各部署分教室で報告し合った。

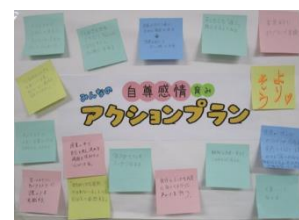
3 各部署分教室での実践

<本校訪問教育部>

研修計画	①部署内研修Ⅰ（4月9日） （テーマ：自立とキャリアについて） ②訪問スタンダードに自立とキャリアの観点をいれる ③部署内研修Ⅱ（6月4日） （テーマ：訪問スタンダードを活用した個別の支援計画作成について） ④部署内研修Ⅲ（2月） （テーマ：振り返り）
状況報告	自立活動を中心の児童生徒だけでなく、教科学習の児童生徒にも訪問スタンダードを広げていくことができてきた。他の部署でも使ってもらえた。

<大阪大学医学部附属病院分教室>

研修の計画	自立活動の充実に向けて、以下の通り実施 ①部署内研修Ⅰ（6月20日） （テーマ：自立活動とキャリア教育について） ②部署内研修Ⅱ（9月17日） （テーマ：学習指導要領自立活動編の「流れ図」に沿って） ③部署内研修Ⅲ（10月17日） （テーマ：自尊感情について） ④部署内研修Ⅳ（2月18日） （テーマ：次年度につなげる今年度の学び）
状況報告	日ごろの指導について、自立活動やキャリア教育の視点から振り返った。研修が意義の再確認や検討の機会となっている。教育支援計画や指導計画の改善にもつなげることができている。また、自尊感情の視点からも指導を振り返った。指導ストーリーを共有することで、指導の方向性を確かめるとともに、チームの団結力を高めることができている。



I 実践報告

< 関西医科大学総合医療センター分教室 >

<p>研修計画</p>	<p>① 部署内研修Ⅰ（5月8日） （テーマ：自立活動とキャリア教育について） ② 部署内研修Ⅱ（6月18日） （テーマ：自立活動や総合の時間におけるの進捗状況報告） ③ 部署内研修Ⅲ（11月26日） （テーマ：自立活動や総合の時間におけるの進捗状況報告） ④ 部署内研修Ⅳ（3学期中予定） （テーマ：年間どのような成果が見られたかの報告）</p>
<p>状況報告</p>	<p>< 小学部 > ① キャリア教育における<自己管理能力の基礎>を育む活動につながる自立活動 ・朝の散歩や草花を育てる活動【心理的な安定】【健康の保持】 ・自ら時間割を書くことで見通しを持つ。【環境の把握】 ・カードゲームでの友人との会話【人間関係の形成】【コミュニケーション】 < 中学部 > ① 課題対応能力やキャリアプランニング能力を育むことと自立活動6項目を総括的に扱う活動 ・中学部の国語科の詩「初恋」では各連をイメージしたイラストを AI「Gemini」を使って作成しプレゼンを行った。 自分の意図を AI に伝える力、try and error の繰り返しからより良いものを作る力、作成したものをプレゼンする力</p>

< 関西医科大学附属病院分教室 >

<p>研修計画</p>	<p>① 部署内研修Ⅰ（5月29日） （テーマ：自立活動とキャリア教育について 1学期児童生徒について） ② 部署内研修Ⅱ（8月22日） （テーマ：注意について～環境の把握、感覚や認知の特性について～ 関西医大教員による研修） ③ 部署内研修Ⅲ（8月22日） （テーマ：各担当児童生徒における取り組みの中間報告） ④ 部署内研修Ⅳ（10月15日） （テーマ：2学期児童生徒について） ⑤ 部署内研修Ⅴ（3学期） （テーマ：次年度につなげる今年度の学び）</p>
<p>状況報告</p>	<p>①では、各担当の児童を連想して目標を立てた。自立活動は、コミュニケーションや心理的安定×キャリア教育の目標は人間関係形成能力、自己理解力・課題対応力の目標が多かった。その後、意見交換し話し合いをもとに、目標や手立ての修正を行った。 ②環境の整備や支援による、注意力、認知の特性への影響について具体的な手法を学んだ。 ③では、具体的な取り組みと進捗状況について、中間報告を行った。その後、各担当から、目標や具体的取組み、児童の様子をまとめたものを10行程度の文章でまとめた。 キャリア教育の観点も含めた活動 ・興味のある職業について調べて発表する活動を行った。 ・看護学部生やリハビリテーション学部生など、学生との交流やコミュニケーションを図る機会を定期的実施した。 ・福祉体験（点字ブロックや白杖、Bluetoothスピーカー等を使って、環境の把握や思いやりを学ぶ講座）を実施した。 以上は人間関係形成（人と関わる。他者の考えを聞く。自分の考えを表現する）、社会形成能力（他者へ関心を持ち、関係を築く）ことを目的としている。）</p>

I 実践報告

<大阪精神医療センター分教室>

研修計画	① 部署内研修Ⅰ（5月8日）自立活動とキャリア教育について ② 部署内研修Ⅱ（9月2日）（巡回臨床心理士による助言を受ける） ③ 部署内研修Ⅲ（12月19日）…2学期の各授業実践を振り返り ④ 部署内研修Ⅳ（3学期）（今年度の実践の振り返り）
状況報告	① 【1学期】 研修支援部より伝達研修の概要を説明と共有をし、各教員が担当教科の授業で意識するキャリア教育の観点を整理した。 ② 【2学期】 授業での指導の課題や困りごとについて自立活動とキャリア教育の観点を整理し、各学部で授業での支援について話し合い、共有した。教員が各自キャリア教育の観点を意識して授業をしていくこととした。また、巡回心理士からの助言も得た。 ・ 中学部では、各教科担当教員がそれぞれの担当授業でどの観点を意識して指導ができるかを考え、中学部全体で意見を共有した。 ・ 小学部では、一人の児童の事例について検討した。図工での指導上の困り感について教員間で共有し、キャリア教育の観点に基づいて目標設定の見直しや具体的な支援の方法について話し合った。話し合いの内容を生かして指導内容を見直したところ、当該児童の授業態度が一変し、自己理解の形成に一步踏み出すことができた。 ③ 【振り返り】各教員が2学期間中の各授業について振り返る機会を持ち、意見交換を共有した。各学部で教員全体の共通目標としてのキャリア教育の観点を見出し、3学期以降に授業実践をおこなう。

4 まとめ

研修支援部が中心となり、各部署で複数回の研修を実施したことで、教員一人ひとりが自分の授業にキャリア教育の観点を取り入れる意識を高めた。研修を通じて個別の教育支援計画の改善も進み、各部署で教員チームとして指導方針の共有や連携が強化された。次年度以降も、学校全体で自立活動とキャリア教育を関連づけた実践を継続し、児童生徒の将来につながる学びをさらに充実させていきたい。